

		3年		4年		
1 学 期	ミニ魚図かんづくり	色鉛筆	三びきの子ぶたの家	色鉛筆		
	自分マークを考えよう	カラーペン等	自分マークを考えよう	カラーペン等		
	つるをおろう	色紙	つるをおろう	色紙		
	釘をぬこう	釘ぬき, ペンチ	七夕かざりをつくろう	はさみ, 色紙		
	七タかざりをつくろう	はさみ, 色紙	釘うちトントン	釘, 金づち 釘ぬき		
2 学 期	ロケットモクモク	色鉛筆 コンテ クレヨン, パス	色のサンプル 9色	絵の具		
	長い紙で～紙ばね～	接着剤	3色ピーマン	絵の具		
	しゃぼん玉をかこう	絵の具	白をくわえてパステルカラー	絵の具		
	切り絵	はさみ, のり 色紙	切り絵	はさみ, のり 色紙		
	これは, ○○です!!	色えんぴつ サインペン コンテ	どこまでうすくなる?	絵の具		
	はさみでチョコキチョコキ	はさみ のり	葉脈をかこう	色鉛筆		
	図工の実験ふきのばし	絵の具	えんぴつをけずろう	小刀		
	わっかづくり	はさみ, のり 色紙	わりばしをけずろう	小刀		
	えんぴつをけずろう	小刀	おかしボックス	はさみ 両面テープ サインペン		
	わりばしをけずろう	小刀	紋切り遊び	はさみ, のり 色紙		
			5年		6年	
	1 学 期	12色 色相環(しきそ うかん)	絵の具	12色 色相環(しきそうか ん)	絵の具	
		自分マークを考えよう	カラーペン等	自分マークを考えよう	カラーペン等	
つるをおろう		色紙	つるをおろう	色紙		
名画ペイント風神・雷神		色鉛筆	名画ペイントゴッホ	色鉛筆		
七夕かざりをつくろう		はさみ, のり 色紙	七夕かざりをつくろう	はさみ, のり 色紙		
2 学 期	線はばデッサン角柱	鉛筆・サインペン 色鉛筆	線織面正方形	鉛筆・色鉛筆 サインペン		
	南の国のヤシの木	色鉛筆	名画ペイント鳥獣戯画	墨汁・筆		
	ふたごのスケッチ	色鉛筆 サインペン	重い箱・軽い箱	絵の具		
	紋切り遊び 本P19	はさみ, のり 色紙	正しい福笑い	はさみ, のり		
	ピラミッド模型	はさみ, のり	紋切り遊び	はさみ, のり 色紙		
			正二十面体	のり はさみ		

(2) ことばであらわそう

児童が自分のイメージを表現する言葉が思い付かず、限られた言葉になってしまうことが、プレ大会後の本校の課題となった。そこで、児童が、言葉で表現する時の参考の1つとして、図画工作用「言葉で表そう」を作成した。これは振り返りカードの記入時や、鑑賞活動の際に活用している。余白を設け、本人が見つけた言葉も書き加えられるようにしている。また、分類項目を「かたち、いろ、てざわり・かんじよく、イメージ」にわけ、各項目の言葉については、教職員が分担して作成した。

(下学年用)

ことばであらわそう

	かたち	いろ	てざわり・かんじよく	イメージ
	1 ○○のような	1 あかるい		1 あたたかい
	2 ○○みたいな	2 あざやか		2 がさがさ
	3 あつい	3 あたたかい		3 かたい
	4 あな	4 あやしい		4 がたがた
	5 うすい	5 おちついた		5 ごつごつ
	6 うずまき	6 かがやいた		6 ざらざら
	7 おおきい	7 かすれた		7 しっとりとした
	8 かくばっている	8 キラキラ		8 すべすべ
	9 かさなる	9 くすんだ		9 ちくちく
	10 ごつごつした	10 くらい		10 つめたい
	11 さんかく 三角	11 こわい		11 つるつる
	12 しかく 四角	12 さむそう		12 どっしりとした
	13 するどい	13 すきとおった		13 なめらかな
	14 せん・ライン	14 つめたそう		14 むめむめ
	15 たいら	15 どんより		15 ぬるぬる
	16 ちいさい	16 なつかしい		16 ばりばり
	17 ちぢむ	17 はっとする		17 ばりばり
	18 つきでた	18 ピカピカ		18 ひんやりした
	19 つもる	19 ふしぎな		19 ぶつぶつ
	20 でこぼこ	20 まぶしい		20 ふんわりした
	21 とげとげした	21 やわらかい		21 もちもち
	22 ながい	22		22 やわらかい
	23 のびる	23		23
	24 ふくらんでいる	24		24
	25 ふとい	25		25
	26 ほしがた	26		26
	27 ほそい	27		27
	28 まがった	28		28
	29 まるい 丸			29
	30 みかづきがた			30
	31 みじかい			31
	32 みぞ			32
	33			33
	34			34
	35			35
	36			36
	37			37
	38			38



言葉で表そう



か た ち	1	(ぶ)厚い・薄い	い る	1	あざやか	て ざ わ り ・ か ん し ょ く	1	あたたかい	イ メ ー ジ	1	あこがれる
	2	〇〇のような		2	あたたかい		2	がさがさ		2	安心感のある
	3	〇〇みたいな		3	あやしい		3	かたい		3	明るい
	4	穴・くぼみ・凹み		4	明るい		4	がたがた		4	いき生きとした
	5	うずまき		5	落ち着いた		5	ごつごつ		5	美しい
	6	大きい		6	かがやいた		6	こまかい		6	エネルギッシュな
	7	角ばっている		7	かすれた		7	ざらざら		7	エレガントな
	8	ごつごつした		8	キラキラ		8	しっとりとした		8	おだやかな
	9	さんかく 三角		9	くすんだ		9	すべすべ		9	おとなしい
	10	しかく 四角		10	暗い		10	ちくちく		10	おびえた
	11	鋭い		11	こわい		11	つめたい		11	落ち着いた
	12	末広がり		12	さむそう		12	つるつる		12	かすかな
	13	線・ライン		13	じみ		13	どつしりとした		13	がっしりした
	14	平ら・起伏のない		14	すきとおった		14	なめらかな		14	きっちりした
	15	小さい		15	つめたそう		15	ぬめぬめ		15	クールな
	16	積もる・重なる		16	とうめい		16	ぬるぬる		16	ゴージャスな
	17	積み重なる		17	どんより		17	ばりばり		17	ごちゃごちゃした
	18	突き出た		18	なつかしい		18	ひんやりした		18	心温まる
	19	でこぼこ 凸凹		19	はで		19	ぶつぶつ		19	さわやかな
	20	とげとげした		20	ピカピカ		20	ふんわりした		20	ざんしんな
	21	長い		21	不思議な		21	もちもち		21	しっかりした
	22	伸び・縮み		22	ほっとする		22	やわらかい		22	シンプルな
	23	ふとい		23	まぶしい		23			23	しんみりした
	24	膨らんでいる		24	やわらかい		24			24	自然な
	25	ほそい		25			25			25	すっきりした
	26	星型		26			26			26	そぼくな
	27	放射状		27			27			27	強い
	28	まがった・しなった		28			28			28	ナチュラルな
	29	まるい 丸								29	なつかしい
	30	みじかい								30	流れるような
	31	みぞ								31	はげしい
	32	三日月型								32	はっきりとした
	33	らせん状								33	はなやかな
	34									34	ひっそりとした
	35									35	びったりな
	36									36	本物のような
	37									37	やさしい
	38									38	
						39					
						40					

(3) - 1 1年生の取組 題材名「いろいろならべて」

① 実態

絵をかいたり、工作をしたりすることが好きな児童が多く、図画工作科の時間を楽しみにしている。また、活動に早く取りかかり積極的に楽しめる児童がいる一方で、自分の作りたい物がわからなかったり、思い通りに作ることができなくて活動に躊躇したりしてしまう児童もいた。そこで、材料からイメージを膨らませ、自分らしい表現や活動が自由にできる造形遊びの楽しさを味わってほしいと考え、色紙を題材とした活動を設定した。

② ねらい

- ・色紙の形や色から並べ方や重ね方を思い付き、いろいろ試す中で好きな並べ方や重ね方を見つける。
- ・並べ方や重ね方を試行錯誤したり友達や友達の作品と関わったりする中で、思い思いの活動を楽しむ。

③ 取組の実際

ア イメージを膨らませるための授業準備～スマイルこうぼう～

スマイルこうぼうの時間を活用し、事前に小さな色紙を一人20枚程配り、自分の机の上で好きなように並べる活動を行った。活動に興味をもち、楽しそうに何度も机の上で色紙を並べる児童が多い中、好きな並べ方が思い浮かばず、何度も並べ直し、活動が進まない児童もいた。そのような児童に対しては、友達の並べ方を見せたり、教師と一緒に好きな色の順番に並べたりした。

イ 対話を通して表現する喜びが互いに感じられる

活動が進んでいくと、近くにいる児童同士や活動が似ている児童同士で集まり、「一緒につなげながら廊下に行こう。」「〇〇さんのところに向かってつなげていくね。」と作品を通した対話ができている。他にも、「〇〇さんは、全部似た色で並べているね。」「まっすぐじゃなくて、傾けておくと面白いね。」など、形や色と関わる対話ができている、表現する喜びが互いに感じられる場面が見られた。



④ 成果と課題

(成果)・事前の活動を行っていたこともあり、授業では自分の好きな色や数の色紙を手に持ち、自分の机や教室の床に思い付くままに並べていくことができた。

- ・並べ方や重ね方など、タブレット端末を使って写真を撮ることで、並べ方や重ね方の変化の様子などの記録が残り、振り返りの場や評価においても効果的であった。

(課題)・児童が友達や教師との対話により、試したよさを伝え合ったり見つけたりしながら、さらに発想を膨らませ児童の深い学びへとつながる教師の言葉かけが必要だと感じた。

(3) - 2 2年生の取組

① 児童の実態

図画工作科の時間は、好きな児童が多くいつも楽しみにしている。昨年度から造形活動にも意欲的取り組み、経験を重ねてきている。しかし、自分の思い通りに表現できなかつたりイメージ通りに活動がすすまなかつたりする場面で困ってしまう児童もいて、課題があることを感じた。そこで、材料からイメージを膨らませ、自分らしい表現や自由に活動する楽しさを味わえる造形遊びを取り入れ、『新聞紙をへんしん』という題材を設定した。

② ねらい

- ・新聞紙に働きかけることを通して、形や触った感じの変化に気付く。
- ・新聞紙を折ったり丸めたり破ったりするなど、手や体全体の感覚を働かせ、活動を工夫してつくる。
- ・新聞紙に働きかけることから生まれる形をもとに造形的な活動を思い付き、どのように活動するかを考える。
- ・全身で新聞紙に働きかけながら、いろいろな形や触った感じの変化などを見つけることを楽しむ。

③ 取組の実際

ア『素材に慣れよう』 ～スマイルこうぼう～

事前にスマイルこうぼうの時間を使って新聞紙を細く丸めて棒状にした。その後セロテープで留めて、輪っかにした。初めは固くなった新聞紙を丸める作業に苦戦していた児童たちも何個かつくっているうちにコツが分かり、楽しみながら作れるようになった。できた作品は、なかよしリングとして生活科の学校探検で活用した。



イ『新聞紙をへんしんさせよう』

体育館を使って、新聞紙と広告紙を材料として活動を行った。活動の途中から、「ここはプールじゃなくて家に変えよう。」「広告紙をつけたらカラフルな傘になってかわいいよね。」と作品を通して、個人の活動から対話をしながら友達とつながり、新聞紙という材料に豊かに関わりながら活動を楽しむことができた

④ 成果と課題

(成果)

- ・スマイルこうぼうの時間を生かしてスムーズに活動ができていた。
- ・活動の様子や課程をタブレット端末で写真に撮り記録に残すことで、振り返りの場面でも自分の製作課程工夫したところを画像で友達に説明することができた。鑑賞活動や評価の場面においても効果的であった。

(課題)

- ・活動を行う前に事前にイメージを持たせる活動を取り入れておけば活動がより深まったと思う。また、活動に悩んでいる児童については「どうしたいの？」などの声かけをタイミングよく行う等、児童がさらに発想を膨らませることが出来る個に応じた声掛けの仕方を工夫することが必要だと感じた。

(3) - 3 3年生の取組 題材名「トントンくぎ打ち、コンコンビー玉」

① 児童の実態

図画工作科の学習に大変意欲的であり、その中でも特に「工作が好き」と回答している児童が多い。しかし、工作を通して自分の思いを表現するためには、基礎的な技能の習得が必要である。基礎的な技能の習得と向上は、自分の思いが表現でき、製作活動の幅を広げることにつながると考える。

② ねらい

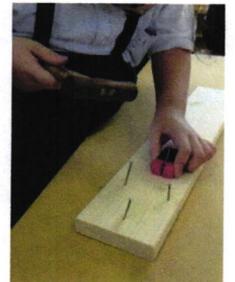
- ・金づちによるくぎ打ちやくぎ抜き等の基本的な技能の向上を図る。
- ・自分のイメージを作品に表すことができるようなしなやかに気づくことができるようにする。



③ 取組の実際

ア 用具や材料に慣れる～スマイルこうぼう～

金づちによるくぎ打ちやくぎ抜きの技能の向上を図るために、木切れを使って試し打ちや試し抜きを行った。初めて金づちを扱う児童にとっては、材料や用具への不安感や恐怖心が強く、思うようにくぎを打ち込むことができない児童もいた。しかし、補助具としてのペンチや消しゴムによるくぎの固定の仕方を提示することで、くぎを打ったり抜いたりすることができる児童が増えてきた。打ち込むくぎの高さを変えたり、斜めに打ったりする等の発想を作品に生かそうとする児童もでてきた。



イ 主体的・対話的な学びから深い学びへ

学習が進んでいくと、「くぎと別の材料を組み合わせた仕掛けを作りたい」と多くの児童が感じはじめた。ストローにくぎをさすことや、くぎにクリップを直接挟むことで、ストローやクリップを手動で回転させることに気付いた児童がいて、グループの友達とやり方を共有する様子が覗えた。試行錯誤する中で、「真ん中の穴が大きかったら回転する」ことに気づき、それを全体で共有したことで、児童が思い描いたイメージに近づく作品が仕上がっていった。



④ 成果と課題

(成果) ・くぎ抜きの高さを調整する方法や、間に木材を挟んだりペンチを使ったりしながらくぎを抜くといった基礎的な技能を活用する様子も伺え、ほとんどの児童が「金づちによるくぎ打ちやくぎ抜き」の技能を身に付けることができた。

・児童自身が製作過程をタブレット端末で記録することで、その日の製作における成果や課題を客観的に把握することができた。

(課題) ・発達段階に応じた工作の経験や、材料や用具の組み合わせで新たな表現を生み出す楽しさを、より多くの児童が感じることができるような指導計画を立てることを考える必要があると感じた。